



ワラオしおり
第88弾！
はいちゅう
配布中♪



おおたわらしりつ おおたわらとしょかん
大田原市立大田原図書館 TEL (0287) 23-4560
くろばねとしょかん
黒羽図書館 TEL (0287) 59-0855
ゆづ かみとしょしつ
湯津上図書室 TEL (0287) 98-7037
URL : <https://www.ohtawara.library.ne.jp>

としょかんだよい

えいがかい じゅうりょく
バリアフリー映画会「重力ピエロ」

にちじ がつ にちど
日 時：9月27日（土）
13時～15時30分
（開場：12時30分）

ばしよ おおたわら
場 所：トコトコ大田原
3階 視聴覚室

ていいん めい
定 員：20名
（事前申込制）

さんかひ むりよう
参加費：無料

たいしやう
対 象：どなたでも

もうしこ がつ にちど
申込み：9月6日（土）から
おおたわらとしょかん
大田原図書館レファレンスカウンター
または電話にて受付

いさかうたろう げんさく
伊坂幸太郎の原作を
えいさうか
映像化しました。

おかだまさき しやうねん じだい
岡田将生（少年時代
きたむらたけみ かせりやう
を北村匠海）、加瀬亮
が出演。

せんだい きんこう
仙台・近郊ロケや、
15年前の初々しい
俳優陣も見所です。

にんぎやうし ばい
人形芝居

「おとひめさまのたまてばこ」

にちじ がつ にちど
日 時：10月11日（土）
14時～15時

ばしよ くろばねとしょかん かい
場 所：黒羽図書館 2階 視聴覚室

こうえん にんぎやうげきだん
公 演：人形劇団 くぐつ

たいしやう ようじ しどう いっぱん
対 象：幼児・児童・一般

ていいん めいていど
定 員：80名程度

さんかひ むりよう
参加費：無料

もちもの くつ い ぶくろ
持ち物：靴を入れる袋

もうしこ ふよう
申込み：不要

とうしつ くろばねとしょかん こ
当日 黒羽図書館にお越しください

といあわ くろばねとしょかん
問合せ：黒羽図書館
0287-59-0855

TOKO-TOKO おおたわら感謝祭 ブックリサイクルフェア

にちじ がつ にちど
日 時：10月25日（土） 10時～15時

ばしよ おおたわら かい ひかりにわ こうてん じ かい かい ぎしつ
場 所：トコトコ大田原 2階 光庭（荒天時は3階会議室）

しやうさい
詳細は、ホームページをご確認ください

令和7年度図書館講演会「新聞でタイムスリップ」

めいじ たいしやう しやうわじだい しんぶん ふ かえ さんか かた たんじやうびしんぶん
明治、大正、昭和時代の新聞を振り返り、参加された方には誕生日新聞をプレゼントします。

にちじ がつ にちど
日 時：11月22日（土） 10時30分～12時（開場：10時）

ばしよ おおたわら かい
場 所：トコトコ大田原 3階 視聴覚室

こうし しもつけしんぶんしゃ はんぱいじぎやうきよく きかくかんりぶ
講 師：下野新聞社 販売事業局 企画管理部

ていいん めい
定 員：10名

さんかひ むりよう
参加費：無料

もうしこ がつ にちど
申込み：10月25日（土）～11月13日（木）
おおたわらとしょかん
大田原図書館レファレンスカウンターまたは電話にて受付



9月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日 大田原・湯津上	2	3	4	5	6
7 	8 休館日 黒羽	9	10	11	12 	13
14 	15 けいろう ひ 敬老の日	16 休館日 大田原・湯津上	17	18	19 休館日 全館	20
21 	22 休館日 黒羽	23 しゅうぶん ひ 秋分の日 でまえこうざ ヤクルト出前講座 （黒羽）	24	25	26	27 バリアフリー えいがかい 映画会 （大田原）
28	29	30	しら がくしゅうさくひんお う ほうけつつけきかん 調べる学習作品応募受付期間（9/1～10/5）			

10月

日	月	火	水	木	金	土
10月のガールスカウトおはなし会は お休みです。			1	2	3	4
5 	6 休館日 大田原・湯津上	7	8	9	10 	11 にんぎやうし ばい 人形芝居 （黒羽）
12 	13 スポーツの日	14 休館日 黒羽	15	16	17 休館日 全館	18
19 	20 休館日 大田原・湯津上	21	22	23	24	26 ブックリサイクル フェア （大田原）
26	27 休館日 黒羽	28 	29	30	31	

…ピノキオおはなし会：毎月第1・3日曜日 午後2時（大田原） 内容：読み聞かせ・紙しばい・工作他 対象年齢：幼児～小学生
…子どものつどい：毎月第2日曜日 午後2時（大田原） 内容：ブックトーク・紙しばい・工作他 対象年齢：幼児～小学生
…コアラおはなし会：毎月第2日曜日 午前11時（黒羽） 内容：読み聞かせ・紙しばい他 対象年齢：幼児～小学生

新着図書/AV

【一般】

タイトル	著者ほか	分類	所蔵館
マジカル博物館ツアー	パトリック ボー/著	069.0	大田原
靈感のある人が見ている世界	片山 鶴子/著	147	黒羽
音声と写真でよみがえる昭和：戦後編	保阪正康/著	210.7	黒羽
60分でわかる！年収の壁超入門	土屋裕昭 佐藤敦規/著	345.3	大田原
謎解き妖怪学	小松和彦/著	388.1	湯津上
知っておきたい「てんかんの発作」	久保田有一/著	493.7	黒羽
じゃんじゃん使えるレモンづくし	農文協/編	596	大田原
体においしい100のおやつ	かず/著	596.6	黒羽
ガッテン農法いい土を育てる	三浦伸章/監修	626	黒羽
流行歌で振り返る昭和100年	合田道人/著	767.8	湯津上
懐石新書	依田徹/著	791.8	大田原
いい音がする文章	高橋久美子/著	816	湯津上
トラジェクトリー	グレゴリー ケズナジャット/著	913.6	大田原
おれは老人？	勢古浩爾/著	914.6	湯津上
遺された者たちへ	マッテオ B.ピアンキ/著	973	大田原

【児童】

ほんのなまえ	かいたひと	ぶんるい	しょぞうかん
ガタンゴトンしょうてんがい	古沢たつお/作・絵	E	湯津上
どこにいったの？ちびねこちゃん	リチャード ジョーンズ/作	E	黒羽
はじめてのうみ	山下明生/作 くすはら順子/絵	E	大田原
しらべるつながりのずかん	おかべたかし/文	K031	大田原
部活をがんばる中学生のための勉強法	鎌田則和/著	375	黒羽
最後のシロクマ	蓼内明子/作	K913	湯津上
ひろしま絵日記	中澤晶子/作	K913	大田原
おふろがしゃべった！？	麦野圭/作	K913	大田原

【CD】

タイトル/アーティスト	所蔵館
ソングス/シュガー・ベイブ	大田原
みいつけた！ファンキー	大田原
あそび/いきものがかり	大田原/黒羽
ビッグバンド・ジャズ ベスト決定版	黒羽

【DVD】

タイトル	所蔵館
はたらく細胞（実写版）	大田原
怪物	大田原/黒羽
オットーという男	黒羽
聖 ☆おにいさん ホーリーメンV S悪魔軍団	黒羽

新サービス！！ご希望の方は身分証明書をご提示ください。

大田原図書館と黒羽図書館で、通帳印字タイプの読書記録帳が作れるようになりました！借りている資料を記録して、いつでも見返すことができます。

利用者カードのバーコードがスマホで表示できるようになりました！ 大田原市立図書館の公式ホームページのマイページにて表示できます。ログインにはパスワードが必要です。

第10回 図書館を使った調べる学習コンクール作品募集中！

夏休みの調べる学習作品をコンクールに応募してみませんか？

大田原図書館では、図書館を使った調べる学習コンクールを開催しています。

コンクール作品応募期間は、9月1日（月）～10月5日（日）まで！



スタッフKのオススメ 『アーモンド』ソン ウォンピョン/著

「我が子がどんな姿でも、期待と反する姿に成長しても、自分は愛せるのだろうか」という著者の問いから生まれた本です。先天的に感情を理解できない主人公のユンジェと、激情家で暴れん坊のゴニ。正反対の二人は、高校生活の中で近づき、ときに離れ、影響を与えます。高校生の目線で読むのもいいでしょう。著者の問いを踏まえ、彼らの周りの大人の目線で愛や葛藤を感じながら成長を見守るように読むのもおすすめです。

スタッフOのオススメ 『ライ麦はもともと小麦に間違えられた雑草だった』

ビル フランソワ/著

この作品は、レストランで料理が提供されるたびに、著者がそれに関する食材の豆知識を読者であるあなたに披露するという形で書かれています。文章はすべてセリフ口調で、専門的な解説というより、知識人のエピソードトークとなっています。読むだけで雑談に興じているような気分になり、食料発見の歴史などを知ることができるのです。フランスのスピーチの出来を競う番組「ル・グラン・トラル」で優勝した経歴を持つ著者の語りを、この本で味わってみませんか。

スタッフIのオススメ 『眠れぬ夜はケーキを焼いて』午後/著

夜中に目が覚めてしまい、眠れずにスマホに手が伸びてしまいがちですが、思いきって起きてしまうのもよいと思わせてくれる本です。夜のゆっくりとした時間を感じられる、絵とマンガのエッセイなので、さりと読めてしまいます。お話の中に、ほっこりとまねできそうなレシピもあります。もし、眠れない夜があったら、この本を思い出せば、まったりと過ごせるかもしれません。

スタッフIのオススメ 『つみきのいえ』加藤久仁生/絵 平田研也/著

みなさんが住んでいる家は、どのような家でしょうか？ この絵本のおじいさんが住む町は海面上がってくるため、つみきのように家の上にまた新しい家を建てて暮らしています。なぜ、そのような大変住みにくい所に、おじいさんは住んでいるのでしょうか？ その理由に心が暖かくなり、せつない気持ちになります。優しいタッチの絵もすてきなのでぜひ読んでほしいです。